



シリーズ⑨

おらほの
むら

～小正月の風景～ あけぼの地区

1月12日、あけぼの地区でサイズ焼きが行われました。小正月の恒例行事として、町内のあちこちで続けられているこのサイズ焼きには、無病息災の願いが込められ、この火で焼いたもちやスルメを食べると1年を健康に過ごせるとされています。雪が舞うなか、火はパチパチと勢いよく燃えていました。



小国高校の生徒によるチャレンジショップが、12月21日から22日の2日間、ショッピングセンターアスモ内で開かれました。これは、中心商店街の活性化を図る取り組みの一環として企画されたもので、1年生2人が、開店準備の段階から、メニューづくり、仕入れなどに挑戦。喫茶店をイメージした店内では、厨房やフロアなどの担当に分かれた高校生らが、注文を受けるたびに笑顔で接客をしていました。

12/21~22

アスモに高校生の喫茶店

小国高校のチャレンジショップ

白い森発



12/25

町内産の地鶏料理試す
やまがた地鶏試食会



町内産やまがた地鶏の生産振興や地場産品としての普及を目的とした「やまがた地鶏試食会」が、12月25日、民宿奥川入で行われました。これは、やまがた地鶏おぐに振興協議会（佐藤祐一会長）が主催したもので、町内の宿泊業関係者など約30人が、すき焼きや燻製などを味わいました。やまがた地鶏は、通常のブロイラーに比べ2倍以上の月日をかけてじっくり育てられることから、うまみ成分であるグルタミン酸の比率が高いといわれています。町内では7人の生産者によって約230羽が生産されています。

1/6

1年の安全を願って祝賀放水
小国町消防出初式

小国町消防出初式が、1月6日、ふれあいの家とアスモ西側駐車場などを会場に行われました。これは団員の士気高揚と、地域住民の防災意識を高めるために毎年行われているものです。

町消防団員約200人のほか、コバレントマテリアル特設消防隊も参加し、ポンプ車などによる防火パレードが行われました。またアスモ駐車場では、大正時代に使われていた腕用ポンプ2台を使っての祝賀放水が行われ、観衆から拍手が贈られました。



1/10

新年の気持ちを半紙に 沖庭小学校で書き初め大会

1月10日、沖庭小学校で、新春恒例の書き初め大会が行われました。始業式に続いて行われた書き初め大会では、3年生から6年生までの46人が多目的室に集まり、学年ごとのお題に挑戦しました。

子どもたちは、ピンと張りつめた空気の中、先生から、つけ、とめ、はらいなどの指導を受けながら、真剣に半紙に向かいました。一枚書き終わるたびに墨汁を足したり、一気に何枚も書きあげたりとさまざまでした。どの作品も一筆一筆に思いが込められた新年の作品となりました。



1/23~25

匠の技と伝統に挑む 第26回 つる細工講習会

1月23日～25日にかけて、国民宿舎飯豊梅花皮荘で、つる細工講習会が開催されました。これは町観光協会（土屋民男会長）が主催したもので、今年で26回目となります。県内外から参加した42人は、講師を務める町内の愛好家に、編み方や模様の出し方などを丹念に聞き、確認しながらつる細工を編みあげていました。

初めて参加した石井幸市さん（米沢市）は、「材料調達から考えると、本当に手のかかる工芸品だと思いました。むずかしいですが、ぜひ編み方を覚えたい」と話していました。



－この人に聞く－

笑顔あふれる
一年に



すみれ保育園
舟山 ひとみ さん

短大を卒業して小国に戻り、三年が経ちました。保育園の仕事は、思っていた以上に大変なこともあります。でも、みんなと一緒に行事をやり遂げた時の感動や、その楽しさにこたえてくれる子どもたちの笑顔は、何よりうれしく、やりがいを感じる瞬間です。

保育園の仕事といっても、子どもたちとの関係だけではありません。保護者のかたはもちろん、地域みなさんから学ぶことも多く、その笑顔や出会いのひとつひとつが、私を成長させてくれるものです。そんな多くの出会いも大切にしながら、先輩がたのいろいろな知恵や知識を吸収し、自分のものとして活かして、年女の今年は何事にも挑戦していこうと思っています。

これからも、子どもたちに笑顔があふれるよう、きめ細やかな保育と、子育て支援に努めていきたいと思っています。

～身近な環境と明日のエネルギーを考える～ 木質バイオマスエネルギーの導入にむけて



未来を見据えて 環境を守る対策を

本年一月八日に、環境省が取りまとめた気候変動の将来予測によると、今世紀末の日本の平均気温は、二十世紀末に比べ最大四・七度上昇するとされています。近年、地球温暖化による気温上昇や異常気象が指摘されているものの、地球規模で見た場合、最近百年間で上昇した平均気温はわずか〇・六度でしかありません。このため、今後は、さら

地球温暖化や環境問題が深刻化するなか、昨年八月十六日、埼玉県熊谷市と岐阜県多治見市で、四〇・九度という最高気温が観測されました。それまで日本の最高気温は、一九三三年に山形市が記録した四〇・八度。七十四年ぶりの記録更新の要因は、高気圧の影響やフェーン現象があげられています。一方で温暖化による影響とも言われています。熱中症患者は年々増加し、局所的な豪雨などの自然災害が毎年のように起きています。私たちの暮らしの中でも、実際に気候変動を考えさせられる場面が多くなっています。

いま、町では、地球温暖化の防止や環境保全の観点から、木質バイオマスエネルギーの導入を計画しています。今月は、身近な環境やエネルギーについて考えながら、取り組みの内容についてご紹介します。

に顕著な気候への影響が現われてくるものと予測されています。

町では、平成十五年、地球温暖化防止対策として、環境負荷の少ない暮らしを実現するための行動ビジョンを作成しました。その後、平成十八年には、美しい自然と環境を守りながら、環境の世紀にふさわしいまちづくりを進めるため「小国町環境基本計画」を策定しました。計画では、未来につなぐ潤いと癒しに満ちた「白い森の国」の実現にむけて五つの目標を掲げ、ご

み減量化や水環境の保全などに加え、新しいエネルギーへの転換や、温室効果ガスの排出抑制、里山の維持活用などに重点的に取り組んでいくこととしています。

なぜ今、 バイオマスエネルギーか

バイオマスとは、生物資源(bio)の量(mass)を表す概念で、家畜排せつ物や生ゴミ、木くずなどの動植物から生みだされる再生可能な資源のことをいいます。つまり木質バイオマスエネルギーとは、木材などから得られる再生産が可能なエネルギーのことを指しています。

国では、地球温暖化防止、循環型社会形成などの観点から、バイオマスの利活用推進に関する具体的取り組みや行動計画を定めた「バイオマス・ニッポン総合戦略」を、平成十四年十二月に閣議決定しました。また、平成十八年三月には、平成十七年二月の京都議定書発効など、戦略策定後

の情勢の変化を踏まえて見直しを行い、国産バイオ燃料の本格的導入、林地残材などの未利用バイオマスの活用による「バイオマスタウン構築」に向けた施策を推進しています。



このような流れを受け、県は平成十六年三月、「山形県バイオマス総合利用ビジョン」を策定し、バイオマスエネルギーを活用した新たな社会形成の指針を示しています。自然資源によって生みだされる

バイオマスエネルギーへの取り組みは、県内でも具体的な取り組みが進められており、ペレットストーブの導入や、果樹の剪定材を利用した発電などの事業化が図られている地域もあります。

町では、昨年二月、地球温暖化や里山の荒廃などへ対応するため、有識者や町内の関係者らによる委員会を組織し、「小国町木質バイオマスエネルギー利用計画」を策定しました。計画では、町土の約九五%を占める、豊かな森林資源を活かした木質バイオマスエネルギーを導入するための調査や方針を取りまとめました。

多面的な効果を期待 木質バイオマスエネルギー

地球温暖化は、化石燃料の消費に伴って発生する温室効果ガスによって加速しています。その温室効果ガスの大部分を占めるのが、二酸化炭素です。木質バイオマスは、成長過程で吸収する二酸化炭素

と、燃焼過程などで排出する二酸化炭素量が同じことから、相対的に大気中の二酸化炭素量を変化させない「カーボンニュートラル」という性質から、環境に優しいエネルギー資源として注目されています。豊かな自然環境に囲まれた本町においては、その生産から活用までの、総合的な循環を実現していくことが可能なエネルギー資源と言えます。

木質バイオマスエネルギーの活用は、環境という観点のほか、森林の適正管理と産業



手入れされなくなった人工林は、光合成が進まず二酸化炭素吸収力が低下する

創出という分野からも、その効果が期待されています。

歴史を振り返ってみると、

化石燃料が台頭する以前までは、里山の薪や炭、柴などは、私たちの最も身近なエネルギー資源として、生活のさまざまな面で、持続的に活用されてきました。しかし、近代化とともにエネルギーの利用形態が変化し、間伐材などは使われることがなくなりました。これらの多くは、林地残材として未活用のまま森林に放置されています。さらに、枝打ちや間伐すらされず、管理が行きとどかない森林では、植物の光合成も進まず、二酸化炭素の吸収力も減退することになります。

未活用のまま温存されている林地残材などを木質バイオマスエネルギーとして利用することは、森林管理に伴う雇用や林業の活性化、また加工にあたっての起業などにもつながります。豊かな森林を守るこの取り組みは、地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消ということもできます。

心温まる昔ながらの炎

現在は、灯油やガス、電気などによる暖房が一般的になってきていますが、一方で、昔ながらに山の恵みを利用して、新たに薪ストーブを設置する家庭も増えています。

自ら木を切り出し、薪を割って薪ストーブを使っている木村賀寿雄さん（杉沢）は、「私の家では、以前は石油ストーブを使っていたが、平成四年に家を建てる際、薪



温かい炎を見ると心が和むと語る木村さん

ストーブを入れることにしました。山を持つているため、自分の労力さえ惜しまなければ、薪はただで手に入ります。最近のストーブは、灰も少なく、木酢液や臭いも出ません。昨年は炭焼きも行い、その炭は火鉢などで使っています。

人が手を加えた森林は、管理しつづけないければ、荒れてしまいます。私の場合は、山に作業道を開削して、手入れしやすいようにしています。ナラ枯れや、間伐されたまま使われない木は、今いくらずでもあります。私の周りでも、最近になって再び薪ストーブを入れたという話を聞くようになりました。資源を捨てておくのはもったいないので、なんとかして使っていけるような仕組みができればと考えています」

本町におけるチップボイラーの導入計画

町では、昭和六十一年に、地域エネルギー開発利用モデル事業を導入し、日本重化学

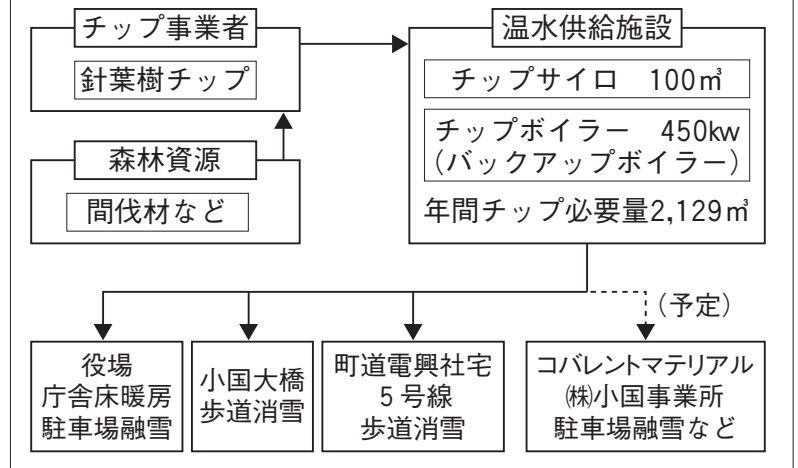
工業(株)小国事業所の工場廃熱で温めた温水を循環して、役場庁舎の床暖房や駐車場の消雪、歩道消雪などに利用してきました。しかし平成六年からは、工場電気炉の運転中止により、重油ボイラーに切り替えて運転してきています。年間約三十万リットルの重油を消費していると同時に、設置から十二年が経過し設備も更新時期を迎えています。

木質バイオマスエネルギー利用計画では、この重油ボイラーをチップボイラーに転換することによって、重油の消費を抑え温室効果ガスの低減を図ることとしています。また、間伐材などの未活用資源を利用し、それを地域内で循環利用することによって、産業振興などに対しての波及効果も期待されます。

チップボイラー設置にあたっては、燃料となるチップをためておくためのサイロやボイラーを稼働させるための機器・設備などを新たに整備する必要があることから、温水供給施設を新設します。

しかし熱源は変わるとして、現在敷設されている熱利用システムの導管などはそのまま有効活用できます。これまでと同様に、通勤通学の利用頻度が高い、小国大橋と町道電興社宅五号線の歩道融雪を行うとともに、役場庁舎の床暖房と駐車場融雪に利用します。このほか、今後は、導管を埋設しているルートの近くに位置するコバレントマテ

システムイメージ図



リアル(株)小国事業所と電興(株)の関連施設にも温水供給し、融雪に使われる予定となっています。

現在は、本年秋頃の本格稼働にむけて、実施設計に着手し、温水供給施設の建設準備に取りかかっている段階です。今後は、小国町森林組合や町内企業などと連携を図りながら、効果的な運用のあり方を構築することとしています。

町の森林を活動の舞台とし、今回の計画で、新たな事業に取り組むこととしている小国町森林組合総務部長の井上一美さんに話を伺いました。

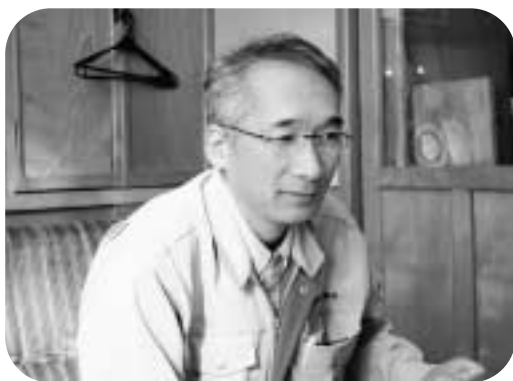
間伐材の利用が豊かな森と山の後継者を育む

「小国の杉は雪の影響を受けて根元付近が曲がるため、根から一・五メートル程度は、材木として使えない部分があります。かつて、この「根曲がり」は、果物や魚などを入れるための木箱に加工されていましたし、もちろん、間伐や枝打ちした木々も、薪や炭、

雪囲いなどに使われ、生活を支えてきました。

私は、昭和五十一年から現在の仕事につき、実際に山を見てきましたが、その間にも多くの変化を感じています。特に集落人口の減少によって、個人や部落単位で所有している山では、後継者が少なくななり、手入れされないまま荒廃しています。管理できなくなった人工林では、木々に虫が付き、病気になるやすくなり、さらに価値が下がってしまつという悪循環が起つていきます。

林地残材として放置されている間伐材などを、チップと



小国町森林組合総務部長 井上一美さん

して有効利用することで、適正な管理と再造林の循環が生まれることを期待しています。間伐に必要な労働者の日当分程度でも、チップ用材木として売買できるようにすれば、森林所有者の意識も変わると思います」

森林資源の有効活用が環境問題への第一歩

温室効果ガスの削減やバイオマス資源の活用を目指して取り組んでいるチップボイラーの導入は、目に見える効果のほか、水源涵養など治山治水や、温暖化防止に対する意識普及、事業創出による間接的な経済波及といった効果が期待されています。

いま人類は、環境問題という大きな課題を抱えています。簡単に解決できるものではありませんが、町では、この森林資源と地域経済の新たな循環の仕組みを構築し、継続的に運用しながら、潤いと癒しに満ちた「白い森の国」を未来へ伝えてまいります。



1月26日に行われた受賞祝賀会で謝辞を述べる舟山さん

舟山慶三さん(岩井沢)に 交通栄誉賞緑十字金章

長年の交通安全活動が評価され、舟山慶三さんが、小国町初となる交通栄誉賞緑十字金章を受章されました。舟山さんは、昭和四十七年に小国地区交通安全協会理事に就任され、平成五年から十二年間にわたり同協会会長を務められたほか、県協会常任理事や副会長を歴任されました。

故 木嶋周二さん(山形市)に瑞宝双光章

故木嶋周二さん(平成十九年十月二十七日死去)は、昭和二十二年に役場に奉職され、地域社会の安定と、町村合併や羽越水害からの復興、総合センターの建設などに尽力されました。その後、昭和四十五年からは国保病院事務長として、また五十年からは町収入役として、豊富な見識と卓越した行政能力を発揮され、町の発展に大きく貢献されました。



叙勲はご遺族に手渡されました

小中高一貫教育 リーダー研修会を開催

十二月二十七日、総合センターで、それぞれの学校におけるリーダーの育成を目的とした研修会が行われました。研修会には、児童・生徒約六十人が参加し、互いに協力しあって、「町のためにできること」というテーマでグループ討議を行い、活発に議論を交わしていました。



最優秀標語

『勇気出し 注意し合える
良き仲間』

第五十七回山形県社会を明るくする運動作文・標語コンテストにおいて、伊佐領小学校四年の高橋咲さん(伊佐領)が、標語の部で最優秀賞に輝きました。最も優れた作品として選ばれたこの標語には、友だちとの絆を大切にしたいという高橋さんの思いが込められています。

まちづくりワークショップ これまでのまとめを報告

次期小国町総合計画の策定にむけて、昨年六月から実施されてきた「まちづくりワークショップ」の最終回が、一月十五日、総合センターで開催されました。

町長をはじめ町関係者も出席した最終回では、教育や産業などのグループごとに、これまでの議論で導き出された成果が発表されました。二月二十九日には、町民を対象とした発表会も計画されました。



きびごはんでおにぎり作り

モチキビを使ったおにぎり作り講座が、一月十七日、おぐに保育園で行われました。これは、食の大切さについて考えてもらうため、町地産地消推進協議会とJA山形おきたま小国地区女性部が、合同で企画したものです。

当日は、保護者を対象に食に関する講演が行われたほか、年長組の園児がおにぎり作りに挑戦。子どもたちは、ハート型や星型など、さまざまな形のおにぎりを、口いっぱいにはおぼっていました。

北部中学生が

温身の郷を訪問

一月十五日、北部中学校の生徒二十二人が、温身の郷を訪問しました。これは、お年寄りとの交流をとおして、ボランティアの心を育もうと、毎年企画されているものです。生徒らは、この日のために練習してきたという手品や、よさこいソーランなどを披露したほか、入所者と一緒にだんごづくりを行い、交流を深めていました。



町長室から

小国町長 小野精一

大型の寒波に見舞われた先月二十七日に、長者原地区では、積雪が二四八センチに達し、浅雪となった昨年とは見違えるように、ようやく「白い森の国おぐに」がその自然の輝きを増してきました。

町では、原油価格の高騰に伴い、町民生活への影響を少しでも軽減するため、高齢者世帯等のかたがたを対象に六千円相当の「あったか灯油券」を交付いたしました。先月二十五日で締め切らせていただきましたが、約四百十世帯の皆様が、今冬の灯油代の一部としてご利用いただいております。

ついこの間、あるお年寄りの方から、「わざわざ灯油券を家まで届けていただき感謝しております」というお礼のお電話を頂戴しました。心温まる言葉に、私自身も喜びをともにしたところです。

催し

男性の料理教室

■日時 2月18日(月)

午前9時30分～12時30分

■場所 健康管理センター

■内容 町食生活改善推進員による指導と調理実習

■対象者 男性ならどなたでも参加できます。

■参加費 三百円(初めてのときは、このほかテキスト代三百十五円を負担していただきます)

■申込期限 2月12日(火)

■申込・問合先 健康福祉課へ

まちづくりワークショップ

町民発表会

町では、次期小国町総合計画策定に向けて、町としての課題の整理や進むべき方向性などを明らかにするため、町民が参画する「まちづくりワークショップ」を展開しています。そこで、これまで議論されてきた内容や、具体的な提案などを、広くみなさんに聴いていただくため、町民発表会を開催します。

■日時 2月29日(金)午後6時～

■場所 総合センター

■内容 ワークショップの説明、ワークショップの概要とその結果(課題や地域資源の整理、導き出された基本的な柱と活動メニュー、実現したい町の姿など)

■その他 申込みは不要で、どなたでも参加できます。

■問合先 総務企画課へ

雑穀料理教室

■日時 2月24日(日)

午前10時～午後1時

■場所 健康管理センター

■内容 講師に郷田和夫氏を迎えて、タカキビを使った料理を作ります。

■定員 十五人

■参加費 二千五百円

■申込方法 2月15日(金)まで電話で申し込んでください。

■申込・問合先 小国町地産地消推進協議会事務局(産業振興課内)へ

募集

町営住宅入居者募集

募集住宅

小坂町勤労者住宅2K 1戸

■募集期間 2月1日(金)～7日(木)

■対象 町内で勤務されているかた

■入居時期 3月上旬

■家賃 三万三千元

■敷金 家賃の三カ月分

■申込・問合先 地域整備課へ

県営住宅入居者募集

募集住宅

県営小国アパート

1号棟 3DK3戸

■募集期間 2月4日(月)～8日(金)

■対象 同居する親族があり住宅に困っているかたで、平成18年度の所得額が月額20万円以下のかたなど

■入居時期 3月下旬

■家賃 所得に応じて決定

■敷金 家賃の三カ月分

■問合先 山形住まいの情報センター(☎0238-24-2332)へ

健康管理センター作品募集

趣味などで制作された作品を、広く一般のかたに紹介する場として、健康管理センター内に設けている展示コーナーの作品を次のとおり募集します。

展示期間

4月7日(月)～平成21年3月19日(木)のうち、1～2週間程度

展示場所

健康管理センター入口ロビー

■募集期間 2月1日(金)～29日(金)

■募集作品 書道、絵画、陶芸、写真、合同で制作した作品など

■申込・問合先 健康福祉課へ

町臨時職員募集

【学校用務員】

■募集人員 若干名

■資格 概ね六十五歳未満で学校活動への支援に意欲と関心があるかた

■募集期間 2月1日～2月20日(土・日・祝祭日を除く)

【教育相談員・学習支援員】

小国町立小・中学校での不登校やいじめに対応する教育相談員及び特別な支援を要する児童生徒の学習や生活を支援する学習支援員を募集します。

■募集人員 若干名

■資格 概ね六十五歳未満(教員免許、児童心理関係の免許等所持者を優先しますが、学校活動への支援に意欲・関心があるかたであれば資格免許は不要)

■必要書類 履歴書、免許所有者

相談

年金相談

■日時 2月20日(水)
■受付 9:30~14:30
■相談 10:30~
■場所 役場町民相談室
■対応者 社会保険事務所職員
■問合せ 町民課へ

人権相談

■日時 2月22日(金)
■受付 10:00~12:00
■場所 総合センター
■対応者 人権擁護委員
■問合せ 町民課へ

原油価格高騰に伴う 農林業相談窓口

置賜総合支庁では、原油価格高騰に伴う相談窓口を設置し、金融対策や経営指導を行っています。

■日時 平日 8:30~17:15
■相談ダイヤル 0238-26-6042

は免許状等の写し

▼募集期間 2月1日~2月29日
(土・日・祝祭日を除く)

■申込方法 午前8時30分~午後5時まで、必要書類などを添えて教育委員会へ申し込んでください。

■申込・問合せ 教育委員会事務局

河川の支障木を利用しませんか

県では、河川支障木の伐採に協力いただけるかたを募集しています。条件の悪い箇所での伐採には、経費の一部を助成する制度もあります。

■対象となる河川

県が管理している河川

■対象者 支障木を伐採し、利用したいと考えている個人、団体、企業など

■伐採期限 3月末まで

■問合せ 置賜総合支庁西置賜河川砂防課 (☎88-8233) へ

ご案内

特別弔慰金請求のお知らせ

第八回特別弔慰金の請求期限が迫っています。該当されるかたは、早めに手続きを行ってください。

■対象者

平成17年4月1日現在、弔慰金の受給権があるかた。(死亡されている場合などは、条件により遺族が受給できます)

■弔慰金内容 終戦60周年第8回特別弔慰金(国庫債券)

▼額面四十万円(十年償還)

■請求期間 3月31日(月)

■受付場所 健康管理センターで

手続きを行ってください。

■問合せ 健康福祉課へ

小国リレーセンター

受付休止のお知らせ

小国リレーセンターは、計量システム更新に伴い、次の日程で計量器の検定を行うため、ごみの搬入受付ができなくなります。ご理解とご協力をお願いします。

■日時 3月3日(月)

■問合せ 午前8時30分~12時
長井クリーンセンター

(☎84-6911) へ

自販機でのたばこ購入に専用 ICカードが必要になります

未成年者喫煙防止の取り組みの一環として、県内のたばこ自動販売機は、5月から「成人識別たばこ自動販売機」に変わります。この自販機でたばこを購入する際には、成人にのみ発行する専用のICカード「taspo(タスポ)」が必要になります。

カードは(社)日本たばこ協会が発行するもので、2月から申込受付を開始し、5月から使用できるようになります。発行手数料や年会費は無料です。申込書は、たばこ

販売店店頭に準備しています。

なお詳しいことは、(社)日本たばこ協会のホームページをご覧ください。(http://www.taspo.jp)

■問合せ taspoダイヤル (☎0120-222-180) へ

長井法務局は米沢と統合します

山形地方法務局長井支局は、2月25日(月)に、米沢支局へ統合されます。統合日以降は、西置賜地域の土地・建物及び会社・法人などの登記、戸籍・国籍、人権擁護などに関する事務は、米沢支局で取り扱われることとなります。

なお統合後は、不動産登記事務についてコンピュータシステムによる事務処理が開始され、自宅や会社のパソコンから、インターネットを利用して、登記申請や登記事項証明書を申請できるようになります。

米沢支局の連絡先

〒992-0001

米沢市金池七丁目4番33号

(☎0238-22-2148)

■統合に関する問い合わせは、山形地方法務局 (☎023-625-1328) / コンピュータ化に関する問い合わせは、長井支局 (☎88-2587) へ。

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- ◇人間の関係 五木 寛之
- ◇獅子の系譜 津本 陽
- ◇美か、さもなくば死を 林 真理子
- ◇さよなら、そしてこんにちは 荻原 浩
- ◇ダイイング・アイ 東野 圭吾
- ◇あじさい日記 渡辺 淳一
- ◇赤土に咲くダリア 日原いずみ
- ◇引き寄せの法則 マイケル・J・ロオジェ
- ◇じょうぶな頭とかしい体になるために

- 五味 太郎
- 川口 晴
- 大沢 久子
- 酒井 駒子

※ほか多数入荷しました。

今月の休館日：2月11日(祝日)、毎週月曜日

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程 2月5日、12日、19日

子育て講座「いちご大福づくり」、

26日、3月4日

■時間 午前10時～11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子

さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日程と場所

2月7日、21日 総合センター

2月14日、28日 おぐに保育園
 ■時間 午前10時～11時30分
 ■対象者 0歳から入園前のお子
 さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日時 3月8日(土)

■場所 午前9時30分～12時
 健康管理センター

■内容 親子体操、記念工作

■申込期限 3月6日(木)

■対象者 おおむね2歳からのお

子さんとお家のかた

■問合先 子育て支援センターへ

求人情報

左の表は1月15日現在の新規求人
 の内容です。無効になっている場合
 もありますのでご了承ください。この
 ほかの求人情報は、ハローワーク長
 井(☎84-8609)へ

西置賜就職面談会

ハローワーク長井では、西
 置賜地域に就職を希望してい
 る一般、学生、高校生を対象
 に管内企業との面談会を開催
 します。事前申込は不要です
 が、高校生の場合は学校を通
 して申し込んでください。

■日時 2月13日(水)
 1:30～16:00

■場所 タスパークホテル
 ■問合先 ハローワーク長井
 (☎84-8609)へ

事業所名	職種	求人数	年齢	就業時間
医療法人社団緑愛会 介護老人保健施設がやきの丘	看護師・准看護師	3人	59歳以下	8:30～17:30ほか
	グループホーム介護員	2人	不問	7:00～16:00ほか
	調理師	1人	不問	9:00～15:45
	調理師	1人	不問	9:00～15:45
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	不問	8:00～17:00
朝日生命保険相互会社長井営業所	生命保険営業	5人	不問	9:10～16:50
(有)コンスカンパニー第一ホール小国店	ホールスタッフ	1人	不問	8:00～17:30ほか
	ホールスタッフ	1人	不問	8:00～22:30間7時間
ひさご電材(株)小国工場	電気部品製造	2人	不問	8:30～17:30
猪野電気工事(株)	内・外線工事作業員	2人	35歳以下	8:00～17:00
合資会社山佐藤農機店	営業・販売・整備工	2人	不問	8:30～17:30
	食堂係	1人	不問	8:45～18:00
(有)蔵王ストアー	レジ係	1人	不問	8:45～18:00
	運転業務	1人	不問	7:30～17:00
小国町森林組合	スタンド給油・配達業務	1人	不問	7:30～17:00ほか
	パソコン業務	1人	不問	9:00～18:00
(株)ケイ・プロダクツ	警備業務(正社員)	5人	18歳以上	8:00～17:00
	警備業務(準社員)	5人	18歳以上	8:00～17:00
DoCoDeMoグループ(有)	マシンオペレーター	6人	不問	8:30～16:45ほか
(株)井上製作所	土木施工管理技士	2人	不問	8:00～17:00
(株)船山工務店	販売員	20人	35歳以下	9:00～18:00ほか
(株)コメリ新潟地区本部	サービス・役務	1人	不問	8:00～17:00
アベプランニング	調理師及び見習い	1人	不問	8:30～22:00
味処藤よし	特別営業職	10人	不問	9:15～17:00
アクサ生命保険(株)長井営業所	半導体製造装置製造	5人	不問	8:30～16:40ほか
(株)ジャパングリエイトスタッフ山形営業所	販売	3人	不問	9:00～18:00間5時間
(有)白い森よこね物産品直売所	販売員	1人	不問	10:00～19:00間4時間以上
(株)サンエー(マルタ小国店)	農産物加工	1人	不問	8:00～17:00
(有)新設・河原角農畜産物加工施設	接客	1人	不問	17:00～21:00ほか
酒味庵まつばら	設備業務及び運転手	1人	不問	8:30～17:30
(株)ナウエル				



保健カレンダー

■問合先 健康福祉課へ

月日	乳幼児健診	受付時間	対 象	場 所
3/21	4 カ月児健康診査	13:00～13:15	19年11生まれ	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
	1 歳児健康診査		19年 3 月生まれ	
3/14	1 歳 6 カ月児健康診査	12:30～13:00	18年 7 月～9 月生まれ	

国民健康保険から 知っていますか？ 高額療養費の支給

医療費の自己負担額が高額になった場合、申請をして認められると限度額を超えた分が支給されます

■申請に必要なもの 保険証、印かん、口座番号の分かるもの、医療費の領収書

70歳未満のかたの場合

- ①同じ人が同じ月内に同じ医療機関で支払った自己負担額が限度額を超えたとき、その超えた分が支給されます。

対 象	自己負担限度額（月額）	4 回目以降限度額
一 般	80,100円 + 1% ※2	44,400円
上 位 所 得 者 ※1	150,000円 + 1% ※2	83,400円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円



※1…上位所得者とは、基礎控除後の総所得金額が600万円を超える世帯のかたです。

※2…医療費が267,000円（上位所得者は500,000円）を超えた場合は、その超えた分の1%を加算します。

- ②同じ世帯で、同じ月内に、21,000円以上の自己負担額を2回以上支払った場合、それらを合算して限度額を超えていれば、超えた分が支給されます。

- ③同じ世帯で過去12カ月間に、4回以上高額療養費の支給を受けた場合、4回目以降の限度額が適用されます。

70歳以上のかたの場合

70歳以上のかた（老人保健で医療を受けるかたは除く）は、外来（個人ごと）の限度額を適用後に世帯ごとの限度額を適用します。

対 象		病院・診療所、歯科の区別なく合算 自己負担限度額（月額）	
		外来（個人ごと）	外来＋入院（世帯ごと）
一 般		12,000円	44,400円
現役並み所得者		44,400円	80,100円 + {(総医療費 - 267,500円) × 1%}
低所得者	住民税非課税世帯	8,000円	24,600円
	住民税非課税世帯で世帯所得が一定基準以下の世帯		15,000円

※現役並み所得者とは、課税所得（各種控除後）が年145万円以上のかたと、その世帯に属するかたです。

※現役並み所得者が過去12カ月間に4回以上世帯の限度額を超えて支給を受ける場合は、4回目から世帯の限度額が44,400円に引き下げられます。

■入院するとき（70歳未満のかた及び70歳以上の低所得者）

限度額適用認定証などの提示により窓口での支払い額が限度額までとなります。入院する場合は、入院前に保険証、印かんを持参のうえ役場町民課に申請し認定証の交付を受けてください。

■申請・問合先 町民課へ

平成20年度

町・県民税の申告相談

2月8日(金)～
3月17日(月)

平成20年度町・県民税申告相談を開催します。申告期限は3月17日(月)までです。申告期限が近づくと大変混雑しますので、なるべく指定された期日に相談会場においでください。申告用紙は2月初旬に送付いたします。

■町・県民税の申告が必要な方

「平成20年1月1日現在で、小国町に居住しているかた」なお、次のかたは、申告書に必要事項を記入押印のうえ、役場税務出納課へ提出してください。

- 税務署に確定申告をしたかた、またはする予定のかた(税務署申告と表示してください)
- 給与収入を1カ所のみから受けるかたで、勤務先から小国町へ年末調整済みの給与支払報告書が提出されているかた(年末調整済と表示してください。)
- 平成19年中にまったく収入がなかったかた ※1 (収入なしと表示してください)

■申告に必要なもの

- ①申告書および印鑑
- ②収入が確認できる次の書類

※1…国民健康保険加入や国民年金の免除申請をするかた、その他証明が必要なかたなどは、課税される収入がなくても申告の必要があります。該当する場合は、申告書が送付されない場合であっても申告してください。

- 給与・公的年金収入 …… 平成19年分の源泉徴収票
- 営業・不動産収入 …… 収支内訳計算書、売り上げや仕入れの帳簿類、必要経費の領収書など
- 農業所得 …… 農産物の出荷伝票、仕切書、請求書、領収書、借入金利子証明書、新規に購入した農機具などに関する書類、その他収入および経費が明らかになる書類
- 雑所得・一時所得 …… 支払証明書や通帳など収入金額が確認できる書類
- ③所得控除を受ける場合に必要な各種領収書や支払金額を証明する書類、または申請書等
- ④通帳など、申告者本人の口座を確認できる書類

■その他

封書を開封のうえ、申告書と一緒に送付される「申告の手びき」等を必ず一読し、持参する書類を確認してください。また確定申告書は、インターネットでも作成できますのでご利用ください。(http://www.nta.go.jp)

■問合先 税務出納課へ

申告相談受付日程

月 日	相談会場	午前の部		午後の部	
		受付時間	相談対象地区名	受付時間	相談対象地区名
2月8日 金	役場大会議室	9時～11時	本町	1時～4時	本町
12日 火	〃	9時～11時	幸町	1時～4時	幸町
13日 水	〃	9時～11時	上岩井沢	1時～4時	緑町
14日 木	〃	9時～11時	伊佐領	1時～4時	綱木箱口
15日 金	〃	9時～11時	小国町	1時～4時	坂町1・2
18日 月	〃	9時～11時	坂町3・5	1時～4時	駅前・栄町
19日 火	〃	9時～11時	小渡	1時～4時	北・西
20日 水	〃	9時～11時	年金受給者申告	1時～4時	松岡
21日 木	〃	9時～11時	平林	1時～4時	東原
22日 金	〃	9時～11時	田沢頭	1時～4時	旭町・小芦
24日 日	〃	9時～11時	休日相談日	1時～4時	休日相談日
25日 月	〃	9時～11時	舟渡	1時～4時	大滝
26日 火	〃	9時～11時	町原	1時～4時	古田
27日 水	〃	9時～11時	あけぼの	1時～4時	館
28日 木	〃	9時～11時	大宮・宮ノ台	1時～4時	種沢
29日 金	〃	9時～11時	地藏町	1時～4時	兵庫館
3月3日 月	〃	9時～11時	今市	1時～4時	増岡
4日 火	〃	9時～11時	尻無沢	1時～4時	岩井沢
5日 水	梅花皮荘	9時30分～11時	小玉川、泉岡	1時～3時30分	長者原、玉川中里
6日 木	玉川コミュニティーセンター	9時30分～11時	足野水、中田山崎、片貝、市野沢	1時～3時30分	玉川、玉川新田
7日 金	水源の郷交流館	9時30分～11時	上叶水、下叶水	1時～3時30分	新股、河原角、上大石沢、下大石沢
10日 月	越中里公民館	9時30分～11時	六ヶ字・鷲	1時～3時30分	越中里、長沢
11日 火	白沼小中学校	9時30分～11時	白子沢、桜沢、間瀬、明沢	1時～3時30分	沼沢
12日 水	りふれ	9時30分～11時	石滝・小股	1時～3時30分	五味沢・太鼓沢
13日 木	足中克雪管理センター	9時30分～11時	百子沢、足水中里、樽口		
14日 金	アスモ多目的ホール	10時～11時	予備日	1時～4時	予備日
17日 月	〃	10時～11時	予備日	1時～4時	予備日



平成19年分所得税 無料 申告相談を開催します

平成19年分所得税の確定申告期を迎え、東北税理士会長井支部では次のとおり「無料申告相談」を実施します。時間は、いずれも午前9時から午後3時までで、担当会員事務所で実施いたします。申告相談のかたは、あらかじめご連絡のうえご利用ください。

実施日	担当会員（税理士）	会員事務所所在地（実施会場）	電話番号
2月12日	長 沼 安 義	飯豊町大字椿3596-3	72-2400
	荒 井 一 男	長井市五十川2445	88-4952
2月13日	梅 村 富 治	長井市新町14-29	84-2505
	元 木 茂	長井市中道1-11-1-15	84-5019
	須 貝 周 一	長井市新町14-29	84-2505
2月18日	長井税理士法人 金 田 和 夫 海老名 信 乃	長井市館町南10-57	88-9159
	海老澤 信 夫	長井市舟場21-2	88-5858
2月25日	安 達 衛 吉	長井市台町4-10-12	84-6215
	仁 科 孝	長井市台町23-20-1	88-5601

※詳しいことは、税務課へ

～各地区の新しい民生委員・児童委員を紹介します～

平成22年11月30日までを任期とする「小国町民生委員・児童委員」に、次のかたがたが決まりました。高齢者や児童、生活などの問題で困っているかたは、お気軽に相談してください。

氏 名	担当地区名	氏 名	担当地区名
馬 場 高 子	坂町1.2	和 田 堅 吉	館、小渡
鈴 木 桂 樹	坂町3.5、玉川口	佐 藤 求	若山、古田、金目
長谷部 等	本町1.2.3	大河原 一 男	沼沢の一部、間瀬、白子沢
須 貝 タ ミ	栄町1.2、小国町1	丹 健 治	沼沢、明沢
柴 田 重 博	小国町2、駅前1.2	渡 部 甚 作	玉川、玉川新田
長 岡 洋 子	緑町1.2	小 嶋 建 男	市野沢、足野水
大 友 昭 男	地蔵町	佐 藤 良 弘	足水中里、百子沢、樽口
羽 田 みえ子	岩井沢1、平林	本 間 堅 策	小玉川、長者原、泉岡
伊 藤 満 司	あけぼの	舟 山 小三郎	片貝、玉川中里、中田山崎
加 藤 登志子	岩井沢2、上岩井沢	今 秀 子	舟渡
岩 崎 三 郎	兵庫館1	貝 沼 清 子	尻無沢、今市
小 林 貞 子	兵庫館2	安 部 新太郎	越中里、長沢
佐 藤 勝 榮	種沢、大滝、杉沢	山 口 英 彦	六ヶ字
後 藤 美代子	松岡、黒沢	安 部 喜 一	三ヶ字
加 藤 忠	東原、町原	齋 藤 力 男	五味沢、石滝
木 村 大 和	伊佐領、綱木箱口	渡 部 八 江	上叶水、下叶水
舟 山 政 司	北、旭町	武 義 和	上大石沢、下大石沢
伊 藤 孝太郎	田沢頭	渡 部 長 一	新股、河原角
渡 邊 勝	増岡	横 山 とよ子	主任児童委員
渡 部 幸 雄	西、小芦、若竹寮	遠 藤 麻記子	主任児童委員
土 屋 民 男	幸町1.2	加 藤 美恵子	主任児童委員
遠 藤 美恵子	大宮、宮の台		

※詳しいことは、健康福祉課へ

みんなの環

サークルやスポーツ団体など、グループで活動しているかたがたを紹介していきます。今日は「ボランティアサークルおぐに舞波」。



熱のこもった練習を重ねるおぐに舞波のメンバー

子どもたちが自ら参画し、確かな実践を通して、有為感や達成感を味わい、自分の成長を実感していくことを目的に、平成14年9月、おぐに舞波（間宮尚江代表）は産声をあげました。今年度は、おぐに舞波よさこいメンバーをメインに、おぐに舞波ワールド（通学合宿）、おぐに舞波ハート（命の学び）のトライアングル活動を展開しています。

特に、よさこいの活動を支える踊り子たちは、町内をはじめ、県内のさまざまな機会でのその勇姿を披露し、高い評価と存在感を示しています。ワールドやハートのように、やってみたいことが現実になるおもしろさが活動の原点です。北部中のメンバーも加わり、今後子どもたちの活動の裾野が広がることを願っています。今年もよろしくお願いします。

編集後記

昔は冬になると、玄関の前にワラやカヤで編んだアーチをかけ、「雪廊下」と呼んでいたそうです。これは、道路までの通路を確保するものらしいのですが、三十歳の私は本物を見たことがありません。除排雪の体制や、流雪溝などの整備もあるとはいえ、やはり雪は少なくなっているような。それでも今年は、暖冬少雪の一年前に比べて冬らしい日が多く、子どもたちがソリ遊びしている姿もよく見かけます。ちなみに、町ホームページでも、十六年度以降の積雪量を掲載しています。

（片桐）

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

小国小坂町 塚 原 ひさひと（昌 裕）
久 仁（ブチャ）
大石 沢 吉 田 しゅんすけ（岳 美）
峻 祐（久 光）
岩井 沢 渡 部 かほ（恵 子）
華 歩

結婚おめでとうございます。

（兵 庫 館 舟 山 篤 史
米 沢 市 田 村 未 奈美
（あ け ぼ の 佐 藤 恵 一
天 童 市 大 内 美 来
（兵 庫 館 伊 藤 喜 裕子
宮 城 県 佐 藤 友 幸
（小国小坂町 梅 津 英 幸
酒 田 市 齋 藤 幸 篤
（長 井 市 鈴 木 未 穂
舟 井 市 塚 原 智 則
（東 北 原 岸 関 一 江

おくやみ申し上げます。

大 宮 勝 見 ト モ (93)
小国小坂町 加 藤 美佐子 (58)
岩 井 沢 伊 藤 と も 子 (82)
岩 井 沢 舟 山 正 市 (95)
杉 沢 佐 藤 キ ン (81)
緑 町 安 部 美 豊 子 (80)
五 味 沢 佐 藤 フ ミ (93)

人口のうごき

人 口 男 … 4,625人 (+7)
女 … 4,860人 (-3)
計 … 9,485人 (+4)
世帯数 3,261世帯 (-2)
平成19年12月31日